

農林漁業現地情報（一般情報）

大豆の事例

6 農林水産物の流通加工対策・消費者対策の推進

地元産転作大豆を使用したみそが好評 [福島・梁川町]

- 生産者と関係機関が連携を図り町の特産品として奨励 -

伊達郡梁川町のＪＡ伊達みらい梁川営農センター（小賀坂清所長）では、平成14年より地元産転作大豆を使用したみそを製造し、同町の学校給食での利用のほか、町内の梁川資材センターなど２か所の直売所で販売を行うなどの活動を通じて、地元産転作大豆の需要拡大を進めている。

このみそは、同町で栽培された転作大豆、タチナガハ（600kg）とコシヒカリ（600kg）を原料に、地元のみそ製造業者に仕込みを委託し、昔ながらの味にこだわり、添加物を一切使わず、醸造期間に８か月をかけている。

また、地元産品の普及を目指し生産者、同町と同ＪＡで組織した「地元産品高付加価値化推進協議会」では、みそを町の特産品として奨励していくこととしている。

同所長は、「原料は地元産大豆と水稻を使用しており安全性にも自信がある。今後は、伊達郡の特産品として定着させたい」と話している。

連絡先：伊達郡梁川町大字粟野字前14 ＪＡ伊達みらい梁川資材センター
（電）024-577-6479 （FAX）024-577-2013